

# こんなことが した



8月26日「子ども夢会議」開催



「伊方町・瀬戸町合併協議会」発足  
9月6日調印式。  
伊方町庁舎内事務所に看板設置



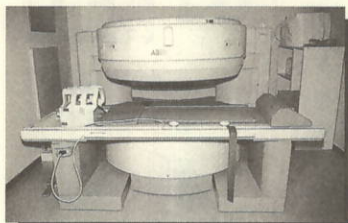
特別介護老人ホーム工事着工  
9月6日起工式。15年5月の開設目指す



9月 風車建設着工  
9月6日起工式。15年7月完成予定

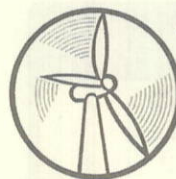


10月 三机保育園改築工事着工  
10月26日起工式。15年3月完成予定



MRI (瀬戸診療所)

(2)



広報

2002  
平成14年

# せと 12

風車のまわるアジな

No. 355



一部瀬戸体協一区ランナー倉本選手から  
二区吉森選手へタスキリレー

三部一斉にスタート、  
一区ランナー松田君 (瀬戸中2年)

瀬戸中三区大森君 (2年) から  
四区松本君 (2年) へ

## 70チームがタスキリレー

2002佐田岬メロディーライン駅伝競走大会が穏やかな好天の中で行なわれ、三崎から八幡浜間40.197kmを全チームが無事タスキを継ぎ、完走しました。

参加チームは全部で70。各ランナーたちは12月とは思えない、むしろ駅伝には少し暑すぎる陽気の中で沿道から送られる家族や仲間や応援の声をもらいながら懸命に力走し、メロディーラインを駆け抜けました。町から参加した3チームの結果は次のとおり。

- 一部 瀬戸体協 18位
- 二部 塩成金太郎 16位
- 三部 瀬戸中男子バレー部 24位

## 今月の主な内容

- 2002年おもなできごと ..... 2~3
- 関西瀬戸町同郷会 ..... 4
- まちの話題 ..... 5
- 漁村生活改善推進事業 ..... 6~7
- シリーズ市町村合併⑩ ..... 8
- お知らせ ..... 10~11
- 住民の動き・年金だより ..... 12

# 2002年は ありま

経済低迷で、まだまだ長引く不況。相変わらず暗いニュースの多い中、先ごろノーベル賞を受賞した田中耕一さんの実直な人柄が庶民に受けて、唯一明るい話題として連日新聞、テレビを賑わせている。私たちが瀬戸町出身のノーベル賞候補、中村修二さん受賞の吉報が舞い込む日を期待したい。



5月12日 消防防災フェア開催



2月8日 大久地区を皮切りに市町村合併地区説明会始まる



7月 瀬戸診療所完成



3月 小島地区山頂部に移動通信用鉄塔建設  
続いて田部・神崎・高茂地区を整備中。これにより携帯電話の不通地区解消



リハビリ室（瀬戸診療所）

## 瀬戸町と関西のかけ橋

### 第五回関西瀬戸町同郷会交流会開催



第5回関西瀬戸町同郷会交流会

番で唱歌「ふるさと」を大合唱

147名の出席者で盛況  
関西瀬戸町同郷会の第五回  
目の交流会が十一月十七日  
（日）、大阪市内のホテルで開

が「地元瀬戸町は人口が減少  
し、以前に比べれば寂しくな  
りました。ふるさとを思う  
気持ちは誰も同じ。可能な方  
は、ふるさとに帰って盛り立



あいさつをする緒方会長

最後に会員が故郷  
を偲んで唱歌「ふる

さと」を大合唱しました。こ  
の歌には参加者全員心が込  
められており、胸にジーンと  
くるものがありました。

会場のムードが最高潮にな  
ったところで、(関)唐栄代表取  
締役社長、(手)将様の音頭で  
万歳三唱をして交流会を閉会  
しました。

会員の皆様がいづまでもお  
元気で、この同郷会が益々発  
展していくことをお祈りして  
います。



第5回関西瀬戸町同郷会交流会

同郷のメンバーでハイチーズ

ていただきたい。ふるさと  
瀬戸町と関西在住者が互いに  
手を取り合って発展していく  
ことを願っています」と話さ  
れました。

町との架け橋とし  
て、益々繁栄するこ  
とを期待します」と  
あいさつ。

第5回関西瀬戸町同郷会交流会

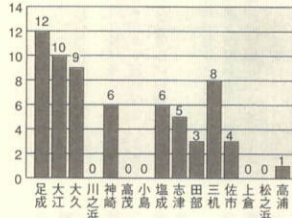
久世議長の乾杯の  
音頭で歓談が始まる  
と、お互い  
に酒を酌み交わしな  
がら久しぶりの再会  
に話の花が咲き、あ  
ちらこちらで五、六  
人のメンバーが、同  
郷の出身者同士で集  
合写真を撮っている  
姿がありました。

(4)

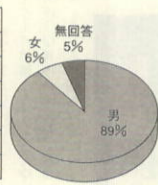
(3)

### 1. 調査対象者の概要について

■対象者の住んでいる集落は？

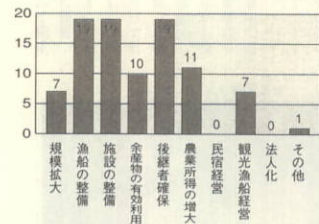


■男女比



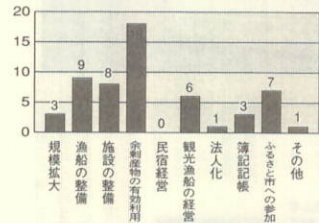
### 2. 漁業経営について

■経営安定のために必要と思うことは？（複数回答）



- 1位 後継者の確保  
施設の整備  
漁船の整備
- 2位 農業所得の増大

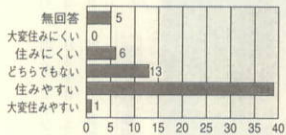
■経営安定のために取り組んでみたいことは？（複数回答）



- 1位 余剰産物の有効活用  
→ 地産地消活動
- 2位 漁船の整備  
→ 設備面の充実
- 3位 施設の整備  
→ 設備面の充実

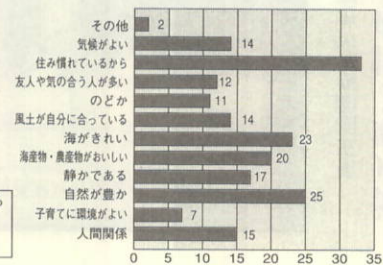
### 3. 集落環境について

■あなたの集落は住みやすいですか？



◎約6割の方が住みやすいと答えている。

■集落の良いところは？（複数回答）



◎自然・人・気候を挙げている人が多い。

平成十四年度に導入された愛媛県の「漁村生活改善推進事業」に伴い、先般、愛媛県・瀬戸町産業課、瀬戸町漁業協同組合が連携し、漁協組合員の方々を対象に、漁村生活に関するアンケート調査を実施いたしました。その結果がまとまりましたので、皆さんにご報告いたします。

## 漁村生活改善推進事業 アンケート調査結果について

### 漁村生活改善推進事業

調査時期：平成14年7月  
対象者：瀬戸町漁業協同組合員 100名  
回収率：64%  
回答者平均年齢 55.8歳

## まちの話題

### 田舎暮らしをしたい人集まれ



熱心に意見交換する参加者の皆さん



引き続き町では十一月二十三日（二十五日の三日間、「移住体験ツアー」を開催。関西を中心に県外から夫婦三組を含む十三名の参加があり、定住促進団地や農業公園など町内各所を視察後、交流に出席。その後、それぞれが町内のみかん農家に宿泊し、農作業などを体験しました。

「都市と田舎との交流会」開催  
町では過疎に歯止めをかけ、定住促進を図るため十一月十七日（日）、大阪市内のホテルで都市と田舎との交流会を開催しました。交流会には、大阪市やその周辺の府県から田舎暮らしを希望する都市生活者四十七名が集まり、田舎に対する理解を深めて頂きました。開会の挨拶で井上町長が「時代は都市から田舎へと流れている。田舎には自然、海・山の幸、人という三つの軸がある」と田舎の良さをアピール。続いて、瀬戸町の紹介ビデオの上映や、すでに都市から瀬戸町へ移住されている方の体験談などで定住の説明を行った後、各テーブルで町からの出席者が移住希望者の質問や応対に当たり、農業、漁業、住宅などについて活発な意見交換が行なわれました。



### 12/8 最後の学芸会で涙

この程、塩成小学校、川之浜小学校は例年より早く学芸会が行われ、この日を楽しく迎えていた保護者や地域の皆さんが、大勢学校を訪れました。観客が見守る中、児童たちは劇や歌を堂々と披露し、熱のこもった演技に来賓や地域の皆さんから大きな拍手が送られました。川之浜小学校は来年度の統合により、これが最後の学芸会。高崎校長始め全校児童が、終わりのあいさつで「いつまでもこの川之浜小学校を忘れないで」と語りかけ、全員で校歌を合唱する姿には会場のあるところから涙する人々が見受けられ、会場全体が淋しさと感動に包まれました。

(5)



### 12/8 岡山県からみかんの収穫体験

十二月八日（日）、どんよりとした曇り空の中、岡山県瀬戸町から親子連れなど約四十名が町で収穫体験をしました。みかんが樹に寄り添って下で受け取る人みかんを摘み取り、その後、積極的に人の手助けをする人、樹の上の方にいるみかんまで残らず摘み取る人など、寒さをものともせず意欲的に収穫作業を行っていました。樹から降り降りてお尻を打ち、周りが怪我の心配をする中、「樹は大丈夫か」と笑いを誘うユーモラスな方もいて楽しく過ごすこと約二時間。コンテナ八十個分のみかんの収穫もでき、皆さん大変満足そうでした。この後、参加者の皆さんは須賀公園の神社や九軍神の慰霊塔を見学し、帰路に就きました。尚、この日収穫されたみかんは即日、大型トラックで岡山県へと送られました。

(6)



